

第193回 全経簿記検定試験 上級 一 会計学一 解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題1 正誤問題

1. 企業会計原則第一・二、企業会計原則注解1
2. 企業会計原則注解11
3. 税効果会計に係る会計基準の一部改正2-2項
4. 株主資本等変動計算書に関する会計基準6項
5. 連結財務諸表に関する会計基準
6. 棚卸資産の評価に関する会計基準7項、10項
7. 自己株式及び準備金の額の減少等に関する会計基準15項
8. 包括利益の表示に関する会計基準5項
9. 連結財務諸表に関する会計基準注解4
10. 外貨建取引等会計処理基準第三・3

問題2 理論問題（自己株式及び準備金の額の減少等に関する会計基準、貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準）**問1**

貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準4項～7項

問2

解答を参照すること。

問3

その他資本剰余金は、払込資本から配当規制の対象となる資本金及び資本準備金を控除した残額であり、払込資本の残高が負の値となることはあり得ない以上、払込資本の一項目として表示するその他資本剰余金について、負の残高を認めることは適当ではない。よって、その他資本剰余金が負の残高となる場合は、利益剰余金として補てんするほかないと考えられ、それは資本剰余金と利益剰余金の混同にはあたらないと判断される。（自己株式及び準備金の額の減少等に関する会計基準12項、41項）

問題3 理論問題（連結財務諸表に関する会計基準）**問1**

解答を参照すること。

問2

解答を参照すること。